

幔幕體事

幔幕事、幔ハ立サマニ繼○繼一本作タリ、略也、○中大藏省主殿寮兩所ニ有之、二色ノ幔ト云ハ、紺ト

白トヲ立ザマニ繼也、○中屋ノ砌引ニハ用幔、○下

〔和漢三才圖會三十二家飾具〕幔音滿

按、幔幕官家用之、非凡下之所用、皆縱幅而十二、以純子縫之、

一種似幔而上施橫一幅、下端不縫處六寸許、以革爲纈纈者、呼曰內幕、

〔古今要覽稿器財〕とばり幔

とばりは、即ち幔にして、幔は延喜式に四幅三幅とあれば、幕よりは幅甚せまきものにて、長さを

六尺、或は四丈二尺と云るしたり、延喜式に幕の方を純幕一字、布幕一字と云るすも、野外に屋を

設る義、幔の方を宇といはずして一條と云るしたるを見れば、たゞ飾に用ゐたるものならん、さ

れどもましまくなど、増鏡、平家物、語長門本幕の宇を添ていひたるは、幕は凡て此類の總名なる故なる

べし、扱これを張には、長き木を乳に通して張なり、故に貫柱といふこと、延喜式見ゆ、其色臨時處分

すと同上あるゆへ、定れる色なければ斑幔ともいふなり、はゞは古にも豎横の兩様あるよし、三光

院内府記に見えたり、

〔令義解營繕〕凡在京營造○義及貯備雜物、○中其年常支料、供用不足、○義及支料之外更有別須應

科折、謂假令臨時造幔、幕應須用束繩、即年常支料之外、更科繩折、布之類、故曰科折也、

〔延喜式大藏〕造幄幕幔用度

繩幔一條、長六丈、表裏料帛各四疋、其色臨時處分貫柱紐卅二條、長各一尺、廣八寸、料帛一丈二尺六寸、固柱紐十條、

長各一尺、廣三寸、料帛三丈三尺、縫料練絲三兩、長功日三人、中功日三人半、短功日四人、

布幔一條、長四丈、二尺、廣三寸、表裏料紺望陀布各三端、紐廿條、長各二尺、廣三寸、料紺布六尺、綱五丈二尺、料熟麻大